

「将来」の公共施設のあり方を考えています

～公共施設の最適化計画策定中～

市は、公共施設のうち建築物について、人口減少社会でも市民の負担を増やさずに行政サービス(機能)が向上するよう、最適化計画の策定を進めています。今回、市民へのアンケートや、公募による市民が構成する「公共施設を考える市民会議」での3回にわたる検討を経て、計画策定に係る基本方針を取りまとめました。

最適化計画の概要

最適化計画とは、現在市が保有している公共施設のうち、建築物を対象に、統廃合や複合化など今後の各施設の整備の方針を定めるものです。この計画に沿い、安全で効果的・効率的な公共施設の維持管理を進めていきます。

計画で定めるもの

1. 基本的な考え方

市民(特に若者・子育て世代や地域)とのコミュニケーションを大切にしながら、3つの視点(供給、地域、財務)を踏まえ、より多くの市民の理解が得られる最適化を目指す。

します。

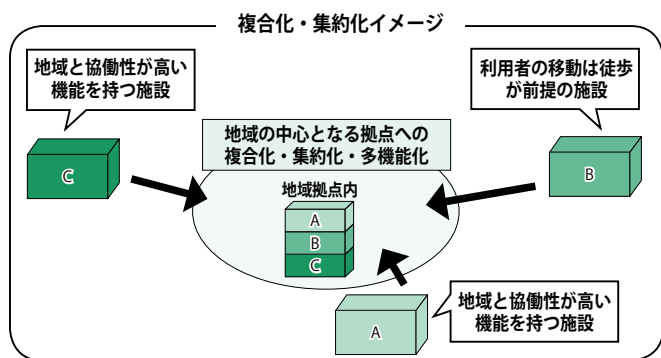
【3つの視点】

- ▽供給の視点
 - 公共施設の複合化や集約化の実施、人口や財政規模に合った施設保有量の最適化
 - 社会情勢の変化に対応した行政サービスの提供
 - 柔軟かつ斬新な発想による取り組みの実施
 - 近隣自治体や民間団体などとのパートナーシップを活用した機能向上への取り組みの推進
- ▽地域の視点
 - 地域拠点形成の推進と拠点内への施設誘導
 - 廃止施設の代替機能や交通アクセスの検討
- ▽財務の視点
 - 予防保全や長寿命化の実施による安全で効果的、効率的な施設活用
 - 財政の効率化、スリム化および除却施設の活用と基金造成

2. 施設配置の考え方

利用者や利用形態の観点から市を3つの圏域(生活圏、近隣圏、市域)に分類し、圏域別に配置する施設を設定します。

▽生活圏(おおむね現在の16地区)：①地域と協働し、コ



コミュニティ資源の活用が可能な施設を配置②利用者の交通手段が徒歩を前提とする施設を配置③多機能化などによる施設総量の抑制

▽近隣圏(おおむね中学校区)：①集約化による施設総量の縮小②集約化に合わせて機能を高度化することでサービスの質を向上

▽市域(市で「カ所程度」)：①集約により効率性が高まり質が向上する施設を配置②専門的サービスを必要とする施設を配置③複合化を進め機能を高度化することでサービスの質を向上

3. 機能配置の考え方

将来にわたり必要な機能を17に分類(①コミュニティ・地域づくり②健康づくり③生涯学習④公園⑤保育・幼児教育⑥小学教育⑦中学教育⑧子育て支援⑨高齢福祉・介護⑩公営住宅⑪スポーツ⑫障がい福祉⑬市役所⑭図書館⑮文化・芸術⑯産業支援⑰観光集客)し、それぞれについて配置圏域の基本的な考え方を定

生活圏	近隣圏	市域
・徒歩で移動ができる範囲を前提とし、近隣圏までを含めた機能維持④⑤⑥ ・自転車で移動ができる範囲を前提とし、近隣圏までを含めた機能維持⑦ ・機能の複合化や集約化の実施(日常のコミュニティ機能分)⑧⑨	・集約により効率化やサービスが向上する機能の積極的な集約⑬⑭ ・他市や民間との連携推進によるハードや行政サービス(機能)の充実⑮⑯⑰	
地域との協働による機能維持①②③	民間資源の活用検討と生活しやすい場への誘導(高度化機能は市域に集約)⑩ 高度または専門的な機能の維持⑪	高度または専門的な機能の維持②③⑨⑩⑫

※丸数字は必要な機能の分類番号



めま

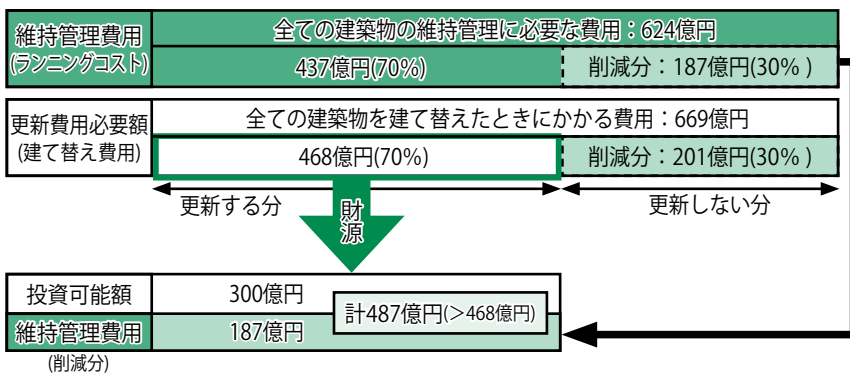
例えば、生涯学習は現在も各地区の交流センターを中心に実施されていることから、引き続き地域と協働で機能維持を図っていきます。高度または専門的なサービスについては、地域に集約し、複合化などで機能を高度化することでサービスの質の向上に取り組んでいきます。

**財政状況に見合った
あるべき姿**

本計画では、市の建築物について延床面積を30年間で約3割削減することとしています。

現在の市の建築物を維持し続け、計画的に修繕し標準的な耐用年数で現状と同規模に建替えた場合は、今後30年間で約669億円(年平均22・3億円)が必要となる見込みです。

これに対し、市の現在の修繕や建て替えのための支出額は年平均10億円(一般会計)程度であり、今後30年間で300億円を確保しても必要額の約669億円に対し、約369億円不足します。建築物に対してはこれに加えて、維持管理費用(減価償却



費を除くとして年20・8億円、今後30年間で624億円の確保が必要となります。床面積を削減することによって、修繕・建て替え費用や維持管理費用を削減できることから、これらの削減効果を反映させ算定した結果、延床面積を3割削減すると、人口減少社会でも市民の負担を増やさず維持管理できる見込みになりました。

手法

施設の複合化・集約化・多機能化推進	<ul style="list-style-type: none"> 建て替えや長寿命化に合わせた統廃合や複合化の実施による必要な機能維持 施設評価など明確な根拠に基づく市民への説明
施設の長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 80年使用を目標とした効果的で効率的な維持管理の実施 技術的かつ財政的に効果的な予防保全や長寿命化実施のルール策定
パートナーシップ(連携)の推進	<ul style="list-style-type: none"> 民間活力を活かした施設の建て替えや管理運営の実施 近隣自治体との施設の相互作用など広域連携による機能の向上維持 民間との連携による機能維持(包括委託や利用助成など)
施設整備費用の財源確保	<ul style="list-style-type: none"> 廃止施設の売却や有償貸し付けの原則実施 更新時における民間資金やノウハウ導入による機能向上かつ経費節減 受益者負担の定期的な検証

市は今後、公共施設の建て替えや長寿命化工事に合わせて、公共施設の統廃合や複合化を実施し、市民に必要な機能維持に取り組みます。また、施設の長寿命化に取り組みとともに、民間企業や近隣自治体などと連携した取り組みの推進や、廃止施設の売却、有償貸し付けなど、施設整備費用の確保に努めていきます。

今後の取り組み

市は、市民アンケートや市民会議での検討結果をもとに取りまとめた最適化の基本的な考え方にに基づき、10月ごろを目途に2019～2050年までの30年間を見通した実施計画の素案を取りまとめ、市民の皆さんにお知らせする予定です。

その後、計画を策定し、建築物の最適化に取り組む予定です。

市民説明会開催

建築物最適化計画における基本的な考え方について、市民説明会を開催します。ぜひご参加ください。

▽とき：7月6日(金)午後6時30分～8時15分

▽ところ：生涯学習センター(大通り一丁目3-1おでんせプラザぐるーぷ3F)

問い合わせ

財政課
☎ 72-8251